

## 第5回 ロハスデザイン大賞 2010 「ヒト」・「モノ」・「コト」 3部門大賞決定のご案内

一般社団法人ロハスクラブ(東京都中央区、代表理事:小黒一三)は、6月5日(土)の世界環境デーに、2010年度の第5回ロハスデザイン大賞/ヒト・モノ・コト 3部門大賞を発表いたしました。

第5回ロハスデザイン大賞では、下記の方法にて**各部門上位3点、特別賞2点(合計11点)**を認定いたしました。

一般公募とロハスクラブ理事メンバーの推薦により、エントリー候補を募集。

ロハスクラブ個人メンバー(インターネット個人審査員/登録数14,000名)による[第1次審査・投票]とロハスクラブ評議会の[審査]により、エントリー候補220点の中から最終審査候補120点を選定。

最終審査は、去る5月13日(木)~16日(日)に新宿御苑にて開催した「第5回ロハスデザイン大賞2010 新宿御苑展」によって行われた[来場者投票(32,181票)]と、ロハスクラブ個人メンバーによる[インターネット投票(36,952票)]を合算した総票数69,133票より各部門の大賞を決定。

受賞の結果は下記となります。

記

### 第5回ロハスデザイン大賞2010・エントリー / 審査概要

エントリー総数	: 220点	
最終審査候補数	: 120点	
エントリー候補公募期間	: 2010年1月1日(金)~5月31日(月)	
最終投票期間	: 2010年5月1日(土)~5月31日(月)	
	第5回ロハスデザイン大賞2010 新宿御苑展	
	開催期間: 2010年5月13日(木)~16日(日)	
	開催場所: 東京・新宿御苑	
投票数	: 新宿御苑展 / 来場者投票総数	32,181票
	ロハスクラブホームページ / 個人メンバー投票総数	36,952票
	合計	69,133票

投票(インターネット投票・新宿御苑展投票)は、1名につき各部門3票、合計9票までの投票により実施いたしました。

### 第5回ロハスデザイン大賞2010 / 3部門大賞・特別賞 受賞者

#### 「ヒト部門大賞」(ヒト部門投票数21,353票)

知花くらら (タレント・WFPオフィシャルサポーター)	2,270 票
丹羽順子 (サステナビリティ活動家)	1,249 票
吉本ナナ子 (食堂はてるま・店主)	1,222 票

#### 「モノ部門大賞」(モノ部門投票数27,152票)

Tokai Challenger (東海大学チャレンジセンター)	2,013 票
間伐材棺桶・エコフィン「ウィル」(ウィルライフ株式会社)	1,155 票
ノントレー包装機NTP-UNI (株式会社イシダ)	1,081 票

#### 「コト部門大賞」(コト部門投票数20,628票)

田園ドリームプロジェクト (田園ドリーム)	1,280 票
エコランド (株式会社ウィンローダー)	1,214 票
千のトイレプロジェクト (王子ネピア株式会社)	1,097 票

#### 「特別賞」

ECO アイドリング!!! (アイドリング!!!) [コト部門]	
チャレンジ 25 ハウス	
・太陽光発電と省エネ家電 / シャープ株式会社 [コト部門]	
・Twin Solar / 東京電力株式会社 [コト部門]	
・グリーンブリーズ / YKK AP 株式会社 [コト部門]	
・SE 構法 / 株式会社エヌ・シー・エヌ [モノ部門]	

## 「ヒト部門大賞」

### 知花くらら (タレント・WFP オフィシャルサポーター)

モデルとし、活躍をしながら、WFP オフィシャルサポーターとして、貧困や飢餓と向き合い、世界の現状を日本に伝える。

2006年のミス・ユニバース世界大会第2位を経て、現在、ビューティー・アイコンとして活躍しながら、積極的に社会貢献活動を行う。07年からは、「WFP 国連世界食糧計画」の「学校給食プログラム」への関心から同機関のオフィシャルサポーターに。以降、アフリカ・アジア各地を訪問。貧困や飢餓の過酷な現実と向き合い、現地の声を日本に伝える活動を続けている。報道リポーターとして培ってきた社会性や知性、自然体な内面やファッション性、語学力を生かして国内外で活躍している。



### 丹羽順子 (サステナビリティ活動家)

映像制作、イベント企画、司会などをこなし、持続可能な社会づくりに奔走。古着の交換会 xChange を立ち上げ、消費社会に物申す!?

ヨーロッパで持続可能な社会づくりを学び、帰国後、環境問題に関する映像制作、イベント企画、ラジオナビゲーターなどをフリーランスで行うパワフルレディ。出産後は都心から鎌倉へ移って小さな畑を営み、娘と共に海山を駆け回る日々。2007年からは、“一人当たり年間10キロの洋服を買い、9キロを捨てる”という日本の状況を変えるべく、お洒落な古着交換会「xChange(エクステンジ)」を開始。不要な洋服を持ち寄り、お金を介さずそれを交換するこのシステムは、“消費”ではなく、“愛”こそ大事というメッセージを伝えている。



### 吉本ナナ子 (食堂『はてるま』店主)

2003年、西表島に食堂『はてるま』をオープン。島の素材を生かした料理で、人々に自然の豊かさとお礼を伝える料理人。

西表島にあるその食堂、『はてるま』には、全国から人々が絶え間なくやって来る。店主・吉本ナナ子さんは24歳まで波照間島で過ごしたあと、石垣、那覇に移住し、那覇で飲食店を開いた。その後、西表島に移住し、2003年から『はてるま』をスタート。西表島は食材が豊かなため、店で出す料理の素材は、ほとんど自分が畑で収穫したものか、海で採ってきたもの。昔ながらの伝統料理をはじめ、ナナ子さんオリジナルの料理は、素材のおいしさを生かした、素朴で力強い味。自然の恵みを五感で味わえる、健康的な食生活を提示する。



# Lohas Design Award/2010

## 「モノ部門大賞」

### Tokai Challenger (東海大学チャレンジセンター)

**オーストラリア大陸を平均時速 100km で駆け抜け、総合優勝を果たした究極のソーラーカー。実用化するのも夢ではない!?**



2009年10月、オーストラリア大陸3000kmを縦断するソーラーカーレース「グローバル・グリーン・チャレンジ」が開催され、見事に総合優勝を果たしたのが、この「Tokai Challenger」。シャープ製の出力1.8kWの高性能太陽電池、ミツバ製の高効率モータ、パナソニック製の高容量リチウムイオン電池など、最新テクノロジーを惜しみなく注ぎ込み、平均速度100.54km/hの記録も樹立。ラリードライバー・篠塚建次郎さんをチームに迎え、欧米の強豪チームを相手に栄冠を勝ち取った。CO<sub>2</sub>排出ゼロ、燃費無限大の街乗りソーラーカーが実用化されるのも未来の話ではない。

### 間伐材棺桶・エコフィン「ウィル」(ウィルライフ株式会社)

**従来のイメージにとらわれない新しい葬送文化の誕生。  
命絶えてなお、未来へとつなげる、森と人との新しい循環サイクル。**



「ウィルライフ」が開発したエコフィン「ウィル」。エコフィンとはエコな棺(コフィン)のこと。従来の棺は合板製だが、本主材は、「more trees」の森がある四万十川流域で育ったヒノキの間伐材を集材加工したもの。芯材には強化ダンボール「バイウォール・パック」を使用し、強度を保ちながら軽量化を実現、さらに燃焼時間の短縮も実現した。売り上げの一部はmore treesへ寄付され、新しい森づくりに役立てられる。これにより、葬儀の際に排出される200kgのCO<sub>2</sub>は、more treesのシステムでオフセットできる。人生最後の場面においても地球のことを思う。そんな葬儀のあり方があってほしい。

エコフィン「ウィル」 26万2500円

### ノントレー包装機 NTP -UNI (株式会社イシダ)

**食品トレーはもう要らない!! フィルムだけで包装する「ノントレー包装機」が、家庭から出るゴミの減量とCO<sub>2</sub>削減に貢献。**



スーパーで販売されている肉や魚、野菜などの生鮮食品の多くは、食品トレーを使って包装されている。食品トレーは、肉や魚のかたちを崩さずに包装するには便利ではあるけれど、料理するときには捨ててしまう「ゴミのもと」。実際に、家庭から出るゴミの60%が容器包装材料である。そこで、計量機器メーカーの「イシダ」が、食品トレーを使わずにフィルムだけで包装する「ノントレー包装機NTP-UNI」を開発。マイバッグ持参でレジ袋を断ったり、簡易包装による省資源が求められている今、さらにやさしく・かしこいエコな包装を実現する「ノントレー包装」が、家庭からのゴミ減量とCO<sub>2</sub>削減に貢献する。

## 「コト部門大賞」

### 田園ドリームプロジェクト（田園ドリーム）

**米づくりを次の世代に伝えたい。画一的な大量生産に疑問を投げかける滋賀県の若手農業家たち。米づくりから、日本のものづくりを考える。**

日本のものづくりの原点は米づくりにあると考え、「米づくりを次世代に伝えるため、私たちは何をすべきか」という課題に取り組む田園ドリームプロジェクト。滋賀県の若手農業家らが中心となり、異なったジャンルの人々とのイベントなどを通して、多角的な視点から米づくりや、ものづくりの未来を模索している。さらに、人々の意識を喚起するため、農家の暮らしを記録した写真展やフリーマガジンの制作、音楽ライブなども実施。大量生産・大量消費型の社会のなかで、「本当に豊かな生活の復活」を目指し、これからも活動を続けていく。



### エコランド（株式会社ウインローダー）

**不用品の回収サービスを行い、回収したものをリユース・リサイクル。物流業の分野から、環境に貢献する独自のシステムを構築した。**

物流会社のウインローダーが 2004 年から始めた独自の不用品回収サービス。首都圏を中心に、企業よ家庭の不用品を回収し、独自のネットオークションサイト「エコオク」やリサイクルショップでのリユース販売を行う。また、買い手がつかなかった不用品は、自社工場で解体・分別を行なってリサイクル。さらに、不用品の素材をもとに、デザイナーや学生と一緒に家具などのおしゃれなエコプロダクツを作る「リアライズ」という事業も行う。現在、全国で排出されている粗大ゴミ約 260 万トンのうち、2 割の約 52 万トンのリユースを目指す。



### 千のトイレプロジェクト（王子ネピア株式会社）

**エシカルな視点で商品を選ぶ消費者の共感を得て、ネピア商品の売り上げの一部で、東ティモールに 1700 以上のトイレを建設・修復。**

世界では毎年 150 万人を超える子どもたちが、汚れた水とトイレの不備からお腹をこわし、脱水症状などで命を落としている。ネピアは 2008 年より、東ティモールで「千のトイレプロジェクト」を実施。過程のトイレ建設や、学校のトイレと給水設備を建設・修復しながら、地域住民や子どもたちに衛生週間の啓発を行っている。キャンペーン期間中に対象商品を購入すると売り上げの一部がユニセフに寄付され、ユニセフが地元 NGO とともにトイレを建設。今年で 3 年目迎える「千のトイレプロジェクト」によって、すでに 1700 以上のトイレが建設・修復されている。



## 「特別賞」

### ECO アイドリング!!! (アイドルリング!!!)

**地球環境へのメッセージを発信する唯一無二のアイドルグループ。  
アイドルという立場を通じて本気のエコ活動を展開!**

フジテレビ発のアイドルグループ「アイドルリング!!!」。アイドルという立場から番組や歌を通して地球環境に関するメッセージを発信している唯一無二のアイドルグループ。番組内では「ECO アイドリング!!!」と称し、レジ袋削減キャンペーン、ドライバーへのアイドルリングストップの呼びかけ、小学校へ環境学習の出張授業、フォレスト・サポーター(林野庁を中心に官民連携を進める、美しい森作り推進国民運動の支援)など、さまざまなエコ活動を行っている。6月には地球環境についてメッセージを込めた楽曲も発売予定。



### チャレンジ25ハウス

(シャープ株式会社、東京電力株式会社、YKK AP 株式会社、株式会社エヌ・シー・エヌ)

**自然の心地よさを取り入れた設計、創エネ&省エネ設備や家電を満載した  
「チャレンジ25ハウス」。普通の暮らしでエコできるすまいのチャレンジ。**

「チャレンジ25」とは、2020年までに90年比でCO<sub>2</sub>排出量を25%削減するという日本の目標を達成するために、環境省が国民に広く呼びかける地球温暖化防止キャンペーン。天然の素材を使い、太陽の光や空気の熱エネルギーを取り入れる。窓を通して季節を感じながら、自然の恵みを活かすという普通の暮らしのなかでできるエコを満載した「家」。シャープからは太陽光発電による自然エネルギーによって作られた電気を使用した、省エネ家電の利用を提案。東京電力は太陽光発電パネルと太陽によって暖められた空気の熱を利用するエコキュートを組み合わせたツインソーラー。

そして、YKK APによる自然の光・熱・風を活用する複層ガラスサッシ。国産木材の集成材とオリジナルのSE金具を組み合わせることで、長期優良住宅を目指すエヌ・シー・エヌの木造住宅など、家電、設備をスタイリッシュに取り入れて、CO<sub>2</sub>削減に向けた新しい暮らし方を提案する。



一般社団法人ロハスクラブ  
〒104-0045 東京都中央区築地7-12-7 築地FTSビル5F  
TEL: 03-3524-9757 / FAX: 03-3524-9675  
<http://www.lohasclub.jp/>